

メディアア時評



安立 清史 九州大学大学院教授

(共生社会学)

れを拒もうとする日本社会の分裂した態度に切り込むべきではないか。

士の受け入れはそんな現状への問題提起を含む「社会実験」として注目されたのだ。

に落胆し、帰国した人たちもいる。他方では病院や施設や利用者に大歓迎され、温かく受け入れられている人も多い。何が成否を分けたのか。

初めて外国人看護師・介護福祉士候補者たちが来日した4年前、メディアの注目度は高かった。しかし、結局、「変わらな

居を低くするのは困難だろう。外国人向けに二重基準を作ることも長期的にマイナスに作用するかもしれない。それでも現実

は待ったなしだ。受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

厚生労働省は「EPA上の特例で人手不足解消が目的ではない」としている。確かに数百人規模では焼け石に水だ。ただ人口減少・少子高齢化社会の中、医療や介護の現場は離職率が高

く、人材不足の窮状にある。福祉系大学への志願者も減少している。外国人看護師・介護福祉

士を受け入れはそんな現状への問題提起を含む「社会実験」として注目されたのだ。

た。しかし、結局、「変わらな

居を低くするのは困難だろう。外国人向けに二重基準を作ることも長期的にマイナスに作用するかもしれない。それでも現実

は待ったなしだ。受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

く、人材不足の窮状にある。福祉系大学への志願者も減少している。外国人看護師・介護福祉

士を受け入れはそんな現状への問題提起を含む「社会実験」として注目されたのだ。

に落胆し、帰国した人たちもいる。他方では病院や施設や利用者に大歓迎され、温かく受け入れられている人も多い。何が成否を分けたのか。

た。しかし、結局、「変わらな

居を低くするのは困難だろう。外国人向けに二重基準を作ることも長期的にマイナスに作用するかもしれない。それでも現実

は待ったなしだ。受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

く、人材不足の窮状にある。福祉系大学への志願者も減少している。外国人看護師・介護福祉

士を受け入れはそんな現状への問題提起を含む「社会実験」として注目されたのだ。

に落胆し、帰国した人たちもいる。他方では病院や施設や利用者に大歓迎され、温かく受け入れられている人も多い。何が成否を分けたのか。

た。しかし、結局、「変わらな

居を低くするのは困難だろう。外国人向けに二重基準を作ることも長期的にマイナスに作用するかもしれない。それでも現実

は待ったなしだ。受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

く、人材不足の窮状にある。福祉系大学への志願者も減少している。外国人看護師・介護福祉

士を受け入れはそんな現状への問題提起を含む「社会実験」として注目されたのだ。

に落胆し、帰国した人たちもいる。他方では病院や施設や利用者に大歓迎され、温かく受け入れられている人も多い。何が成否を分けたのか。

た。しかし、結局、「変わらな

居を低くするのは困難だろう。外国人向けに二重基準を作ることも長期的にマイナスに作用するかもしれない。それでも現実

は待ったなしだ。受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

狭き門の背景、取材経験生かして

(西日本社発行紙面を基に論評)

あたち きよし 1957年生まれ。東京大卒、日本社会事業大学助教授、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員を経て現職。

毎日新聞3月30日付社説は外国人介護士を取り上げ、EPAで来日したインドネシア人とフイリピン人の国家試験合格率が37・9%だったとし「さらに門戸を開け」と論じた。4月24日付「くらしナビ」欄では2人の

一連の記事は、外国人が日本で働く困難さを示した。だが、国際化の必要に直面しつつ、そ

すね」と説いている。

受け入れに際し現場の方々は大変な努力をされた。多くの研究者や支援団体も現れた。そして数百人の看護師などの専門資格をもつ人たちが、夢と希望を

あたち きよし 1957年生まれ。東京大卒、日本社会事業大学助教授、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員を経て現職。